

2025年11月定例会

11月26日から12月22日までの会期で定例会が行われました。

主な議案はコミュニティセンター等各施設について指定管理者を指定する議案や市民病院第4期中期目標案、国の物価高騰対応交付金による関連補正予算等が提案され可決しました。



市民のくらし
応援に
今年もがんばります

| 事業名 | 内容 | 実施時期 |
|---------------------------------|---|----------------------------------|
| プレミアム付デジタル商品券の発行 市 | ●市内の店舗で使用できるデジタルプレミアム付き商品券7,000円分を5,000円で販売 ●30万口発行、1人3口まで(応募多数の場合抽選) | 【受付】3月下旬頃受付 【利用期間】4月下旬頃～8月末予定 |
| 高齢者へのギフトカードの送付 市 | ●65歳以上の高齢者対象に1人当たり5,000円を支給 | 3月下旬頃から順次発送予定 |
| 福祉施設等への応援金の支給 市 | ●保育所等障がい児通所支援事業所、介護サービス事業所及び障がい福祉サービス事業所(通所系、入所系、訪問系等の施設)、医療機関等に対し、定員に応じて応援金を支給 | 【申請受付】1月頃申請受付 2月頃から順次支給 |
| 中小企業の生産性向上に向けた設備投資への補助 市 | ●中小企業者の生産性向上のための設備投資に対し、3分の2補助 1件当たり最大200万円 | 【事前審査】2月～3月事前審査 4月から申請開始 |
| 小学校給食費の保護者負担軽減 市 | ●小学校給食費の無償化 | 1月～3月 |
| 子育て応援手当 国 | ●18歳までの子ども1人当たり一律2万円を支給。2026年3月31日までに生まれる新生児も含む | 3月上旬から順次支給 |

物価高騰対策事業
について

日本共産党は



物価高騰対策事業の中で、会派として強く求めてきた小学校給食の無償化は評価できます。デジタル商品券はデジタルに不慣れな人に不平等を生じる可能性があるため、市は65歳以上の高齢者にはギフトカードを支給するとしていますが、障害者も対象にすべきです。

全体として今回の事業は恩恵を受ける市民や事業者が限定され、非正規労働者等、低所得者

世帯への支援がありません。例えば他自治体で多く実施される水道料金の減免等、全市民、全事業者対象の事業になっていないことは、行政の公平性の観点で十分に検討されたとは思えません。物価高騰への対応は早急に実施する必要があり、事業予算には賛成をしましたが、今後不十分であれば必要な手立てを取ることを求めました。

11月定例会の質問から

質問動画は
こちら民間
委託市民課の民間委託
検証を求める

答弁/市民部長

主要目標達成指標等を設定し、品質を担保していく。市民の満足度や窓口対応だけでなく、業務の効率化状況や経費削減効果の検証も予定している。

質問

市民課業務の民間委託が始まり窓口は非常に混雑している。一定期間を経ないと業務を適切に行っているか判断は難しいが、委託を終了した自治体では、委託料引上げを受託者から求められ折り合わない、受託スタッフが頻繁に入れ替わり業務体制が不安定などの例がある。中・長期の視点で評価・検証を行うべきではないか。

質問動画は
こちら公共
交通鉄道駅の
無人化解消を

答弁/土木部長

駅の無人化については、鉄道事業者が社会変化に柔軟に対応するため、その経営判断において行うもの。今後、バリアフリー基本構想の改訂に当たっては、鉄道事業者と協議を行っていく。

質問

鉄道駅の無人化の時間帯が増え、電車の乗降のための乗車介助に事前予約が必要で、急な用事の際には希望する時刻の電車に乗れない等、大変不便を感じるという声が寄せられている。無人化を解消するため本市として実態に応じた積極的な対策が必要である。



子ども

保育所での
発達支援保育の
制度変更は見直しを

質問

第3期障がい児福祉計画策定のアンケートには「こども園・幼稚園・保育所での障がい児の教育・保育の充実」の声が多く寄せられた。計画には「巡回相談・支援体制の充実」とあるが、いまの制度を変更することは示されていないのに変更するのはなぜか。

答弁/児童部長

第3期障がい児福祉計画は、支援が必要な児童の増加に対応できるよう関係機関と課題の検討を進めるとしており、再構築にあたり現行制度利用者への影響を最小限とするよう、慎重に対応してきた。今後も関係者の不安に寄り添い説明を尽くしたい。

質問動画は
こちら質問動画は
こちら

福祉

手話通訳者登録制度を
早期に創設せよ

答弁/福祉部長

登録制度の創設に向けて、引き続き調査を進め、手話通訳者育成に努める。通訳者の増員や正規配置については、必要性について検討する。

質問

手話通訳者登録制度は北摂7市のうち4市で実施されている。本市も早期に創設せよ。通訳者の派遣や登録制度の実施において、コーディネート業務を担う職員の役割が重要である。手話通訳者の質を高め、地位向上のため、市の手話通訳士の増員と正規職員の配置をせよ。

質問動画は
こちら

スポーツ

市民体育館の
バリアフリー化、
空調整備等を計画的に

質問

市内に5館ある市民体育館は、市民スポーツの拠点施設であり、バリアフリー化や設備の更新など課題がある。また災害時には避難所となり、通常の利用においても熱中症対策が必要であることから、計画的な空調設備等の整備を求める。

答弁/都市魅力部長

施設の特性を踏まえ、誰もが利用しやすい施設となるよう、エレベーター等の整備を進める。スポーツ施設の空調設備は現在、(仮称)スポーツ施設整備計画の中で検討を進めている。



日本共産党吹田市議会議員団

益田 洋平

村口 久美子

山根 建人

玉井 美樹子

柿原 真生

塩見 みゆき

竹村 博之

